

野田市文化会館及び野田市生涯学習センター指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 令和5年2月13日（月）午後2時55分から午後3時20分まで
開催場所 野田市役所 4階 職員控室
出席委員 総務部長（副委員長）、教育次長兼生涯学習部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員 副市長（委員長）、企画財政部長
事務局 生涯学習課、行政管理課

1 開会

＜副委員長から開会の言葉＞

2 議事

令和4年度（4月～12月）野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務報告書及び令和5年度野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務計画書の審査について

＜事務局から令和4年度（4月～12月）野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務報告書及び令和5年度野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

- 業務報告書2ページの平等利用確保の取組について、「SNS」を活用した情報発信の効果について検証していれば結果を教えてほしい。また、試験的に「YouTube」による情報発信を開始したとあるが、どのようなものか教えてほしい。
→ 指定管理者が「YouTube」にてチャンネルを開設し、11月5日から、2月に開催する宝くじ公演「AROUND40 MEMORY CONCERT」の告知動画を公開した。
「SNS」を活用した情報発信の効果については、今回の宝くじ公演のように「曲を聴けば多くの方が知っている」イベントでは、音声及び映像で内容を伝えることができるため、二次元のチラシやポスターでは伝えられない情報を伝えることができ、効果的である。また、作成した動画は今後、市のInstagram及びデジタルサイネージで活用できるメリットがある。

- 業務報告書3ページ ネーミングライツについて、野田市文化会館の愛称が「野田ガスホール」に決定したことで、市民の反応は変わったのか、良かった点及び悪かった点について説明してほしい。
→ 良かった点は、看板等が一新されたことにより明るいイメージになったこと、野田ガス株式会社のショールームにて、ポスター掲示及びイベントの告知が可能

となったことである。

悪かった点は、現時点ではネーミングライツの認知度が低く、「野田ガスホール」という愛称から、野田市文化会館だと分からず、ガスの施設等であると勘違いされた方がいたことである。

- 担当課が考える指定管理者による管理運営の課題及び問題点を教えてほしい。
- 生涯学習課では、指定管理者による管理運営を適切に把握するため、毎月定例の会議を設け、状況把握を行っている。市が求めるサービスを行っていることの確認に加え、指定管理者が抱える課題や問題点についても意見交換している。

指定管理者制度を導入したことによるメリットは、民間事業者として蓄積したノウハウがあり、多様化する住民ニーズに応えた企画を、アイデアをいかし実行できていることである。具体的には、生涯学習センター小ホールで毎年開催している「春風亭一之輔独演会」及び平成 29 年度に文化会館で開催した「東京ゲゲゲイ歌劇団公演」が挙げられる。これらは、民間事業者間の人脈がないと確実に実現できないものや、奇抜すぎて行政担当者では企画しないものであったと考える。

問題点は、文化会館等施設の老朽化が顕著であるため、施設修繕を含む維持管理に業務が偏向してきており、本来の魅力的な事業や地域向けイベントの充実という業務を履行できないという問題が出ている。

本市としては今後も、住民目線で施設の運営に目を配りつつ、民間事業者と対話を深め、サービスの質の向上と持続的な提供に向けて取り組んでいく。

<審議の結果>

令和 4 年度(4 月～12 月)野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務報告書及び令和 5 年度野田市文化会館及び野田市生涯学習センター業務計画書について承認

3 閉会